

藤白台留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和5年度）

1 育成室の概要

(1) 児童数・教室数（令和6年3月1日時点）

児童数191人（うち配慮を要する児童9人）					教室数	
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	5教室
	57人	60人	43人	29人	2人	

(2) 受託事業者

社会福祉法人淳風会・社会福祉法人燦愛会共同事業体

（契約期間：令和3年4月～令和8年3月）

他に受託している育成室（山二育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	3
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容をおおむね適正に履行しているが、一部改善が必要な項目がある。
- ②保護者アンケートの「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」の設問で、「そう思う・少しそう思う」の回答が合わせて約98%であり非常に高い割合である。
- ③保育内容について、児童自身の主体性を伸ばすことを目的に、定期的な意見交換の場（Go-toトーク向上委員会）を開催し、児童自ら取り組みたいことを主体的に話し合う場を設けている。
- ④個人的な事情があるとはいえ、主任指導員を始め、年度途中での担任指導員の退職が続いた。児童や保護者との信頼関係の構築には継続的な雇用が望ましいため、事業者としても定着率のより一層の向上などの改善が求められる。